



株式会社 **小林洋行**

# 第72期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日

# 株主の皆様へ TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。30年余り続いた「平成」が終わり、「令和」と改元され、新たな時代がはじまりました。ここに「第72期 株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

第72期は、当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業において、国内商品市場は依然厳しい環境下にあり、貴金属市場も低調に推移した結果、国内商品取引所の総売買高は、42,616千枚（前年度比17.1%減）と減少しました。株式会社フジトミの主力である商品先物取引の受取手数料は減少しましたが、金融商品取引の取引所為替証拠金取引（くりっく365）及び取引所株価指数証拠金取引（くりっく株365）は順調に売買高を伸ばしており、受取手数料が増加しました。

生活・環境事業においては、電気料金の削減や既設照明器具の製造中止などがLED照明へのリニューアル需要の追い風となりました。国内の生損保市場は、生保は社会保障制度に対する不安や高度先進医療の費用負担への備えの必要性等を背景に、医療保険や介護保険といった第三分野商品へのニーズが拡大しました。損保は新種保険市場が引き続き拡大しましたが、自動車保険料率の引下げの影響で成長は鈍化しました。

スポーツ施設提供業においては、当社が所有するゴルフ場（ゴールデンクロスカントリークラブ）は、夏場記録的な猛暑の影響で前年を大きく下回りましたが、その他のシーズンは比較的天候に恵まれたため、来場者数の増加に繋がりました。

今後、証券・金融分野の日本取引所グループ（JPX）と貴金属・エネルギー・農産物といった商品分野の東京商品取引所（TOCOM）が経営統合により、それらを一元的に扱う「総合取引所」が誕生することになります。投資・金融サービス業をはじめ、その他各事業部門におきましても、今後も経営資源の最適な配分を図り、早期の業績回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年（2019年）6月  
代表取締役社長 細金 成光

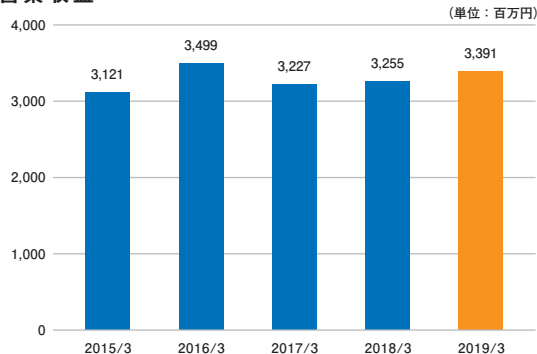
## 業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

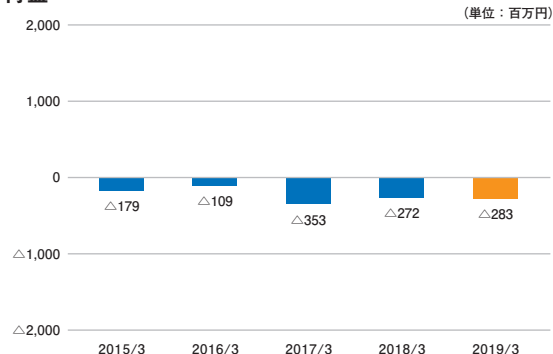
また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

# 連結業績の推移 Highlight

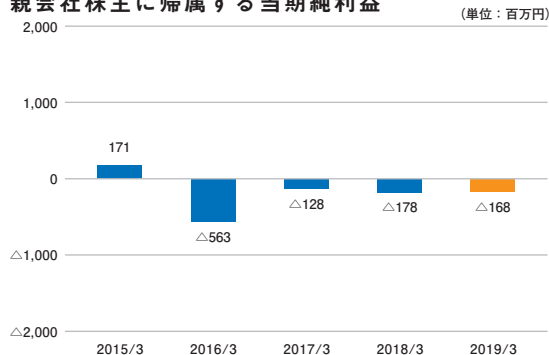
## 営業収益



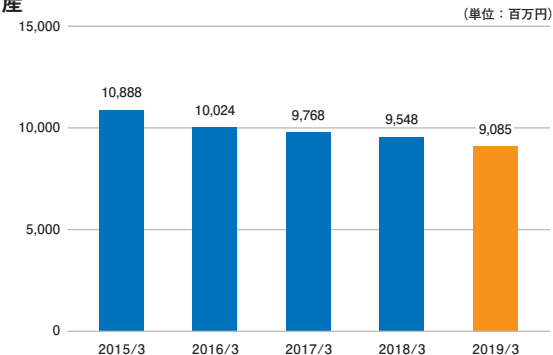
## 経常利益



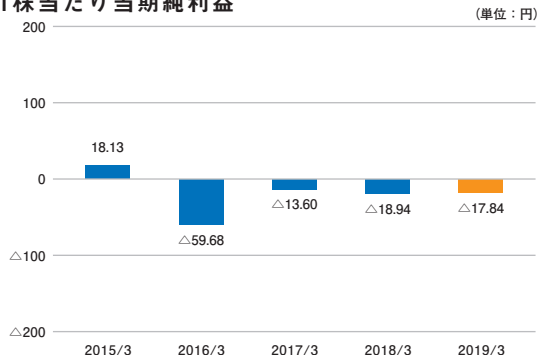
## 親会社株主に帰属する当期純利益



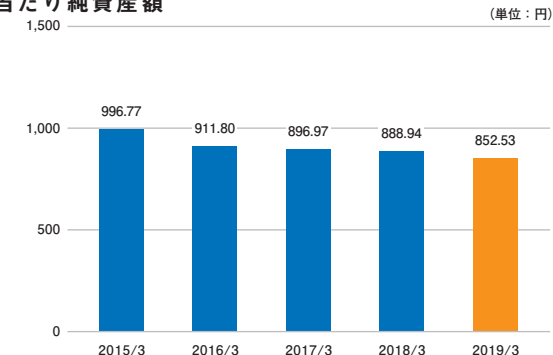
## 純資産



## 1株当たり当期純利益



## 1株当たり純資産額



# 連結財務諸表

## ●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	8,422	8,124
現金及び預金	2,812	3,067
保管有価証券	306	388
委託者先物取引差金	502	541
差入保証金	3,685	3,409
預託金	42	35
その他の金	1,078	685
貸倒引当金	△ 4	△ 2
固 定 資 産	6,198	6,804
有形固定資産	4,427	4,726
無形固定資産	86	104
投資その他の資産	1,683	1,974
資 産 合 計	14,621	14,929
負 債 の 部		
流 動 負 債	4,961	4,737
預り証	2,240	2,414
その他の金	2,720	2,322
固 定 負 債	542	614
特別法上の準備金	31	29
負 債 合 計	5,535	5,380
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	7,976	8,168
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	888	888
自己株式	5,542	5,734
△ 454	△ 454	
その他の包括利益累計額	75	227
非支配株主持分	1,033	1,153
純 資 産 合 計	9,085	9,548
負 債 ・ 純 資 産 合 計	14,621	14,929

## ●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前 期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営 業 収 益	3,391	3,255
営 業 総 利 益	2,169	1,982
営 業 費 用	2,497	2,326
営 業 損 失 ( △ )	△ 327	△ 344
営 業 外 収 益	56	75
営 業 外 費 用	12	3
経 常 損 失 ( △ )	△ 283	△ 272
特 別 利 益	33	54
特 別 損 失	17	91
税金等調整前当期純損失(△)	△ 266	△ 309
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	△ 0	0
当 期 純 損 失 ( △ )	△ 282	△ 326
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 114	△ 147
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 168	△ 178

## ●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前 期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	32
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5	△ 170
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 56
IV. 現金及び現金同等物の増減額	△ 153	△ 194
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,749	1,943
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	1,596	1,749

## ●業績の概要

当社グループは2019年3月期において、投資・金融サービス業においては、株式会社フジトミの主力である商品先物取引の受取手数料は710百万円と減少しましたが、もう一つの柱であります金融商品取引の取引所為替証拠金取引(くりっく365)及び取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)は順調に売買高を伸ばしており、受取手数料が587百万円と増加した結果、投資・金融サービス業の受取手数料は1,298百万円となりました。また、自己ディーリング部門は、80百万円の売買損となりました。

生活・環境事業において、生命保険・損害保険事業では、募集手数料は248百万円、ふくろう少額短期保険株式会社が営む少額短期保険業の保険料等収入などの営業収益は83百万円となりました。また、太陽光発電機・LED照明等の売上高201百万円や主に株式会社三新電業社が営む広告用電設資材卸売業の売上高462百万円などを加えた、生活・環境事業の営業収益は996百万円となりました。

スポーツ施設提供業においては、当社が所有するゴルフ場(ゴールデンクロスカントリークラブ)は、夏場記録的な猛暑の影響で前年を大きく下回りましたが、その他のシーズンは比較的天候に恵まれたため、来場者数の増加に繋がり、売上高は455百万円となりました。

不動産業においては、不動産賃貸では、当社グループが所有する賃貸用不動産は、入居率、稼働率ともに高水準で推移しており、安定した収益源となりました。また、不動産売買では、短期に収益を獲得できる案件を中心にバランスよく投資し、投資資金を最大限に活用した結果、売上高は527百万円となり、その他の事業を含めた営業収益は3,391百万円、営業総利益は2,169百万円となりました。

一方、営業費用は2,497百万円と増加したため、営業損失は327百万円、経常損失は283百万円となりました。また、投資有価証券売却益などの特別利益33百万円、投資有価証券売却損などの特別損失17百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失は168百万円となりました。

# Topics

## 投資・金融サービス業



株式会社フジトミ

くりっく株365、くりっく365サービス開始  
新たにラインナップが追加されました。

くりっく株365

くりっく365



平成28年1月から株価指数証拠金取引「くりっく株365」、外国為替証拠金取引「くりっく365」を開始し、従来から行っていた金や原油などの商品先物取引に新たなラインナップが加わったことで投資家の選択肢が広がりました。

\* 「くりっく株365」、「くりっく365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。

くりっく株365/くりっく365  
東京TEL 0120-365-686 大阪TEL 0120-365-605

商品先物取引オンライン TEL 0120-15-2413  
商品先物取引コンサルティング TEL 0120-241-337

## 生活・環境事業



株式会社フジトミ

豊富な商品ラインナップより、  
お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



本社保険事業部 TEL 0120-27-2413 福岡営業所 TEL 0120-60-2960 熊本営業所 TEL 096-288-7162

平成29年7月6日より、連結子会社として『ふくろう少額短期保険株式会社』が新たに加わりました。

オリジナル保険商品の提供とお客様がご納得いただける保険料を実現します。現在のライフスタイルを把握し、『必要な保障』と『月々の保険料』を決めるスマート・バリューな保険を取り扱っております。



ふくろう少額短期保険株式会社 TEL.0120-977-856



広告用電設資材総合卸・LED照明環境の総合プロデュースを通じて、快適な視空間を社会に提供します。

昭和50年の創業以来、多くのお客様に支えられ、数々の広告用電設資材のご提供を手がけてまいりました。平成27年3月に、株式会社小林洋行の連結子会社となり、新たに小林洋行グループの一員として、従来の広告用電設資材総合卸に加え、省エネルギー対策や快適な視空間の確保のためのLED照明のご提案を展開しております。



本社 TEL 03-5999-3434 (代) 日本橋オフィス TEL 03-3669-7762  
FAX 03-5999-3477 FAX 03-3669-3375

# Topics

## スポーツ施設提供業

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯 圏央道市原鶴舞ICより約7分。

「ゴールデングロスカントリークラブ」

エバーグリーンの広大なステージ。  
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。  
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、  
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。  
フェアウェイ・ティーグラウンドに  
寒地型芝草（ペレニアルグラス）をオーバーシーティングして、  
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。

(運営)

株式会社日本ゴルフ倶楽部

千葉県長生郡長南町市野々575

TEL : 0470-82-5211

<http://www.goldencrosscc.com/>



## インターネット広告業

集客力を高めるためのホームページ制作や、デザイン変更のご提案をいたします。  
また、検索連動型広告のより効果的な運用のお手伝いなども行っております。  
お気軽にお問合せください。

株式会社小林洋行コミュニケーションズ

東京 TEL : 03-3669-4282

京都 TEL : 075-255-2381



## 不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し安定した収益を確保しております。  
また、中長期的な安定収益の確保を目的とした賃貸物件等の取得、  
及び、短期的な収益の獲得案件にバランス良く投資してまいります。

- ▶ 平成25年1月 ~ ビジネスホテル（相鉄フレッサイン日本橋人形町）
- ▶ 平成26年3月 ~ 賃貸マンション（ロイヤルコート日本橋人形町）
- ▶ 平成27年3月 ~ 賃貸マンション（エリートタウン日本橋）

相鉄フレッサイン日本橋人形町  
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4  
TEL : 03-5695-0203



# 株式の状況

2019年3月31日現在

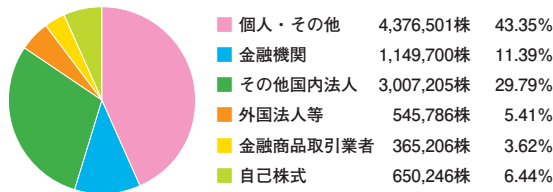
# 会社概要

- 株式数 発行可能株式総数 27,000,000株  
発行済株式総数 10,094,644株
- 株主数 17,401名
- 大株主

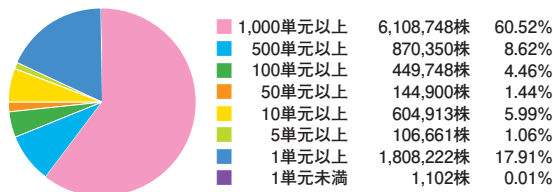
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社東京洋行	2,788	29.52
株式会社りそな銀行	463	4.90
共和証券株式会社	312	3.30
細金英光	283	3.00
細金成光	282	2.99
トウヨウセキュリティーズ アジアリミテッド	231	2.45
内藤征吾	199	2.10
細金千恵子	170	1.80
細金玲子	156	1.65
山本時雄	122	1.30

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示し、また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
2. 当社は、自己株式を650,246株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況



## 所有株式数別分布状況 (1単元 100株)



- 商号 株式会社 小林洋行  
 英訳名 KOBAYASHI YOKO CO.,LTD.  
 本社 〒103-0014  
 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号  
 設立 1949年(昭和24年)3月26日  
 資本金 20億円  
 主な事業内容 ・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務  
 ・不動産賃貸業  
 役員 代表取締役社長 細金成光  
 (2019年6月27日現在) 常務取締役 大丸直樹  
 取締役 渡辺宏  
 取締役 瀧澤克行  
 取締役(監査等委員) 霞信彦  
 取締役(監査等委員) 加藤周二  
 取締役(監査等委員) 西田章

(注) 取締役(監査等委員) 霞信彦氏、加藤周二氏及び西田章氏は、社外取締役であります。

- 連結従業員数 149名(2019年3月31日現在)  
 主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・三井住友信託銀行株式会社  
 小林洋行グループ 株式会社フジトミ  
 (連結子会社) (東京証券取引所JASDAQ 証券コード8740)  
 株式会社三新電業社  
 看板資材株式会社  
 株式会社日本ゴルフ倶楽部  
 (ゴールドエンクロスカントリークラブ運営)  
 株式会社小林洋行コミュニケーションズ  
 ふくろう少額短期保険株式会社

## 株主メモ

### 事業年度

(毎年4月1日から翌年3月31日まで)

### 定時株主総会

毎年6月

### 基準日

定時株主総会については3月31日といたします。  
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

### 剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。  
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### (電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

### 【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

# 株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<http://www.kobayashiyoko.com/>

## 株主優待制度

毎年3月31日現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上 1,000株未満 おこめ券 2枚  
所有株数 1,000株以上 おこめ券 5枚

※おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどをご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。

